

Funehiki High School News vol.107

◆野球部大活躍！ 県大会ベスト 8

第 68 回春季東北地区高等学校野球福島県大会において、本校野球部が大活躍しました。1 回戦では会津高校に延長 12 回の末 5 - 4 で勝利、2 回戦では学法福島高校に 2 - 1 で勝利し、ベスト 8 進出を果たしました。3 回戦では日大東北高校に 1 - 4 で残念ながら敗れてしまいましたが、部員一人一人が最後まで粘りを見せました。野球部OB・同窓会をはじめ、地域の皆さん、応援ありがとうございました。現在も野球部全員が一丸となり、さらに上位を目指して日々練習に励んでいます。



◆高校体育大会 県大会出場

以下の各部活動が見事地区大会を勝ち上がり、県大会に出場することができました。県大会でも全力を尽くして堂々としたプレーを見せてくれました。

- 卓球部…女子団体、女子ダブルス、女子シングルス(2名)、男子シングルス(1名)
- バドミントン部…男子ダブルス、女子ダブルス
- 陸上部(やり投げ)
- ソフトテニス部…女子ダブルス
- 剣道部…男子団体
- ソフトボール部(女子、写真)



◆片曾根山登山が行われました

5月27日、1年生の恒例行事である片曾根山登山が行われました。当日の朝はあいにくの雨で、予定より2時間遅れての出発となりましたが、山頂に近づくと晴れ間も見え始め、全員が無事に登頂できました。登山の途中で自主的にゴミ拾いをしたり、友人と楽しくお弁当を食べたりと、短い時間でしたが、生徒にとって最高の思い出になったようです。



◆携帯安全教室

5月27日、第一体育館で携帯安全教室が行われました。田村警察署生活安全課の方をお招きし、スマホなどの通信機器を使用するときの注意点を、DVDを視聴しながら詳しく説明していただきました。被害者にも加害者にもならないよう、正しい使い方を学ぶ良い機会となりました。

◆船引高校同窓会より

船引高校同窓会の東京支部総会が5月29日、東京都上野のホテル・パークサイドで行われました。東京・埼玉・神奈川・千葉・茨城在住の同窓生が、久々の再会を果たしました。関東圏にお住まいの同窓生の皆さん、次年度の参加をお待ちしています。

東京支部に関する問い合わせは、本校事務局までお願いします。なお、転居などに伴い住所変更がありましたら、併せて本校事務局にご連絡ください。



【28年度同窓会総会・同期会】

- 日 時
8月15日(月)午後2時
- 会 場
ウェディングプラザ丸美
- 問い合わせ先
船引高校同窓会事務局
(船引高校内)
- 対象卒業年度
昭和40、45、50、55、60、
平成2、7、12、17、22、25年度

福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp



あたたかさ

Colin Dunn

コリン・ダンさん
(アメリカ合衆国
ニューハンプシャー州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	37

夏が近づくとつれて、外で過ごす時間が増え、僕は“あたたかさ”について、いろいろ考え始めています。

“あたたかさ”といっても、気候の暖かさばかりではなく、田村市の人たちから感じる人柄の温かさです。それは、僕が田村市とこの地域の人々が大好きなことの1つです。若草学園に歩いて行ったり、自転車で市内のお店に行ったりする時に、道を歩いている人や見知らぬ人でさえ、いつも僕にあいさつをしてくれます。

アメリカはだいぶ違います。日本では、あいさつの大切さを強調するようなポスターを街なかで見かけることがあります。アメリカでは見かけません。また、日本語には、会話する相手によってあいさつや言葉づかいを使い分けますが、英語にはそのような表現が多くないので、親しい友人であっても、会ったことのない見知らぬ人であっても、たいてい気楽に言葉を深く考えないで会話をします。ほとんどの場合、その気持ちは良いことなのですが、時には相手に対して、日本語にはない無礼や冷めたさを感じさせることがあります。

日本語のように相手や場所によって言葉を使い分けると、相手が無礼や冷めたさを感じることはほとんどなく、多くの場合は温かい交流ができるので、日本の人たちは近づきやすいと感じます。

僕は、船引町ほど大きくないアメリカの街で育ち、学校に通い、働き、買い物や飲食をしたりしていました。にもかかわらず、街の中で人からあいさつをされることはめったにありませんでした。街では見知らぬ人と交流する時間をできるだけ短くする傾向があり、レジ係やウエイターを除いては誰かに声をかけたりしないで、人々は、自分の用事を済ませると家に帰ることだけを考えているようにさえ見えます。

それはもしかすると、僕が街の中を、アメリカではいつも車で移動し、日本では通常、自転車や徒歩で移動するからではないかと思えます。ゆっくり人に近づけば、顔と顔を突き合わせた交流を増やすことになります。僕があちこちを旅行する時もそうです。

でも、これが“あたたかさ”の唯一の理由だとは思いません。

日本でいろいろな場所(たいていは大都市)を旅行しましたが、田村市で会う人々のように好意的な人は、ほとんどいませんでした。昨年のゴールデンウィークに東京に行ったことを思い出します。ある朝、歩いて駅へ行く途中で会った年配のご夫婦に、私はあいさつをしました。少しお辞儀をして、「おはようございます」と。2人は明らかに僕の方を見ましたし、私の声も聞こえたはずでしたが、まったくあいさつをしてくれませんでした。他の場所でも同じような経験をしましたが、田村市ではそのような経験をしたことがありません。

なぜ違うのでしょうか。今、生活している田村が特に穏やかなのか、あるいは僕がまだ気づいていない他の理由によるのか分かりません。これは僕の今後の課題にしましょう。

どちらにしても、温かく迎え入れてくれる雰囲気がある田村市——この街で働き、生活をする機会をいただいて、とてもうれしく感じています。

